



Making the Future
Next 100

— つながる ひろがる もりあがる —

10月2日

追手門学院大学校友会
事務局

2021年度 補正予算概要

2021 年度補正予算について

補正の目的

- ① 2020 年度決算を受けて、2021 年度数値が確定した項目に反映
前期繰越金 前期末前受金 前期末未払金
- ② 2021 年度が始まり、2021 年度数値が確定した項目に反映
会費（各学年の学生数が決定 学生会員の会費が確定）
- ③ 各委員会の事業計画の見直し
2021 年は特にコロナの影響を受け、活動に制限が生まれる委員会
逆に
これまでの活動が制限されるため、新たな方法を模索して活動する委員会
があり、各委員会での事業計画に見直しがあった。

概要説明

2021 年 9 月 25 日に理事会が開催され、補正予算は承認されました。

その時の説明に沿って概要説明をいたします。

A3 版の 2021 年度収支予算書（補正）について、勘定科目の左にNo.を入れているので、No.とともに科目と予算数値をご覧ください。また右半分には予算数値の算出根拠等を記載していますので、併せてご覧ください。

【収支予算書（補正）】

＜収入の部＞

No.1の前期繰越金は、5,115千円増加の216,857千円となった。

No.2の会費は△5,040千円減少の143,000千円となった。この主な要因は、卒業生（前年の4年生）の会費で、当初予算では1,698名の卒業生を見込んでおりましたが、実際には1,561名の卒業生になったことである。

No.10の雑収入は、△250千円の減少で、2,220千円となった。雑収入の主な内容は、ゴルフコンペや還暦同窓会、古希同窓会など参加者から徴収する参加費となっている。コロナの影響でゴルフコンペが中止、LinkAの会も2回開催から1回開催に縮小したことにより参加費が減少したことによる。

No.11の前受金収入は、△23,080千円の減少で0千円となった。これは、2021年度の新入生が合格後に前もって入学前に支払う前期の学費のうち会費分を前受金として校友会に入金する会計処理をしていたのを、2021年度の入学が確定してから校友会に入金する会計処理に変更したことによる。

No.15の周年事業積立金繰入金は、△8,297千円の減少で7,516千円になった。この内容は、校友会50周年事業積立金から一般の会計に繰入するものである。

結果、No.17の当年度の収入計では、△29,387千円減少の69,058千円となった。△29,387千円の減少となった主な要因は、No.11の前受金で会計処理を変更したことによる。

No.18の収入の部合計は、△24,271千円で285,915千円となった。

＜支出の部＞

No.19 の会報発行費～No.43 の寄付金までは、各委員会の事業計画を数値化したものである。補正予算額の大きな科目、当初の予算から増減が大きい科目を中心に説明する。

No.19 の会報発行費は、△500 千円で 12, 450 千円となった。会報 94 号と会報 95 号の発行にかかる費用が主である。

No.20 の会員交流費は、△25 千円で、5, 205 千円となった。主な内容は、還暦同窓会や古希同窓会、2021 年度は新たな事業として日経新聞に広告を掲載していただいた卒業生や LinkA に掲載させていただいた卒業生との交流会（異業種交流会）を予算化した。

No.22 の総会費は、3, 200 千円増加の 6, 600 千円となった。この内容はホームカミングデーにかかわる費用で、コロナの影響で完全 Web 配信にし、配信の機材や多くの配信コンテンツの撮影、編集にかかる費用である。

No.23 の支部援助費は、△1, 070 千円の減少で 4, 340 千円になった。主な内容は支部の集いの案内にかかる費用で、コロナの影響でつどいを中止した支部の費用を減額したことによる。

No.27 の入学記念品費は、460 千円増加の 4, 600 千円となった。これは、オリジナル USB からオリジナル PC ケースに変更したことによる。

No.28 の卒業記念品費は、増減なしの 8, 910 千円となった。卒業アルバムの DVD を作成し、卒業生に配布するもので、専用のホームページも開設していつでも見られるようにしている費用である。従来の冊子版は、100 冊分を作成。

No.32 の国際交流費は、△900 千円減少で予算額 0 となった。これはコロナの影響で実施を中止したことによる。

No.35 の交通費は、△905 千円の減少で 2, 111 千円となった。これは、各支部のつどいに参加する役員の交通費がつどいの中止により減額したことによる。

No.40 の事務費は、450 千円増加の 1, 400 千円となった。主な内容は事務局の事務用品の購入などで、今年度は総持寺キャンパスの校友ラウンジにテレビを設置したこと、大手前 6 階改修工事によって、事務局の部屋が他の部署と分離したことにより備品の整備を予算化したことによる。

No.41 のグッズ作製費は、△1, 500 千円の減少で 1, 500 千円となった。各支部のつどいや還暦同窓会、古希同窓会など参加者に対して配布するグッズの費用で、コロナの影響でつどいや同窓会が実施できていないため参加者に配布できず、在庫があるため、作成を半減させたことによる。

No.42 の記念事業費は、△17, 395 千円の減少で 7, 541 千円となった。これは、今年度実施する予定であった記念式典・懇親会を来年度に延期したことによる減額となった。

No.43 の寄付金は、△3, 400 千円で 4, 600 千円となった。これは將軍山奨学金の申請者が 3 名に留まったことにより減額となった。

No.44 の学生支援費積立金は、450 千円増加の 80, 570 千円となった。この内容は 2018 年度入学者から毎年 10 千円を会費として徴収することになったが（学生会員化）、2017 年度以前の入学者は従来 of 形で 4 年次の卒業時に 40 千円を会費として徴収するため、2017 年度入学者が卒業するまでは、学生会員の会費分と従来 of 卒業時に徴収する会費とがあるため、学生会員の会費徴収分の別積み立て額である。

結果、No.52 の当年度の支出計は、△7, 486 千円の減少で 171, 287 千円となった。

No.53 の繰越金は、△16, 785 千円の減少で 114, 628 千円となった。

【校友会 50 周年特別会計収支予算書（補正）】

<収入の部>

No.56 の繰越金は、14, 067 千円増加の 22, 328 千円となった。

No.57 の経常会計からの繰越金は、△8, 272 千円減少の 7, 541 千円となった。これは、記念事業経費分を経常会計から使用することを数値化したもので、予定していた記念式典・懇親会を来年度に延期したことで、記念事業費が減少したためである。

No.59 の雑収入は、△900 千円の減少で 0 である。これは、記念式典参加者を 300 名とし、会費 3 千円徴収を見込んでいたが、来年度に延期したことによる。

結果、No.60 の当年度収入計は、△9, 052 千円減少で 7, 661 千円となる。

No.61 の収入の部合計は、5, 015 千円増加の 29, 989 千円となる。

<支出の部>

No.62 の記念事業費は、△17, 395 千円の減少で 7, 541 千円となる。これは、記念式典・懇親会が来年度に延期となったことによる。

結果、No.63 の当年度支出計は、△3, 350 千円の減少で 21, 586 千円となる。

No.64 の次期繰越金は、8,365 千円増加で 8,403 千円となる。

【資金残高】

資金残高の 2020 年度から 2021 年度の推移は表のとおりです。